

ご町内のみなさん。あけましておめでとございます。こちらは、日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。本年もどうぞよろしく願いたします。今日は、今年7月の参議院選挙についてお訴えをさせていただきます。大変お騒がせいたしますが、しばらくの間ご協力をお願いいたします。

さて、みなさん。「政治を変えたい」「くらしを守りたい」という、みなさんの願いが、ついに自公政権を退場に追い込みました。しかし、残念なことに、民主党政権は、雇用の問題や後期高齢者医療制度の問題、沖縄の普天間基地の問題など、要の問題で、選挙公約から大幅に後退する態度をとっています。

私たち、日本共産党は、こうした、民主党政権の問題点をただし、事態を、少しでも前向きに打開するため、全力をあげています。そのためにも、今年7月の参議院選挙で、建設的な野党である、日本共産党を、大きくのばしていただきますよう、心から願いたします。

第一に、雇用の問題では、これまでの延長線でない失業者支援、労働法制の抜本的な転換を、おこなわせる必要があります。しかし、民主党政権の緊急雇用対策は、自公政権の対策の延長線上にしかなく、今年も「年越し派遣村」を設置せざるをえない状況になりました。失業給付の延長などの「緊急対策」と、労働者派遣法の抜本改正を、なんとしてもおこなわさせ、常雇いがあたりまえの社会を、早急につくる必要があるのではないのでしょうか。

第二に、後期高齢者医療制度は、先送りすることなく、ただちに廃止させる必要があります。民主党政権は、後期高齢者医療制度を廃止すると「混乱する」という口実で、廃止を先送りしようとしています。しかし、後期高齢者医療制度がこのままつづけば、制度に組み込まれる人が増え、保険料の引き上げを押し付けられることとなります。そもそも、75歳という年齢を重ねただけで、医療で差別されるという、諸外国でも例を見ない制度がもちこまれたことに、いまの大混乱のおおもがあります。私たち日本共産党は、後期高齢者医療制度は、ただちに廃止し、もとの老人保健制度に戻させるため、みなさんと力をあわせ、全力をつくしてまいります。

第三に、沖縄の普天間基地の問題は、県内でのたらいまわしを、キツパリと断らさせ、無条件撤去を実現する必要があります。アメリカに一喝されたら公約を覆す。これで、対等の日米関係といえるのでしょうか。昨年11月には、「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する沖縄県民集会」が、2万人の参加で成功しています。みなさんと力をあわせ、世論と運動をさらに広げ、米軍基地のない平和な沖縄と日本をつくるため全力をつくすではありませんか。

今年7月には、参議院選挙がおこなわれます。私たちは、比例代表では、650万票の確保で、日本共産党の5議席の絶対確保を、広島選挙区では、大西おさむさんを先頭に全力でがんばってまいります。どうか、みなさんの大きなお力添えて、日本共産党を躍進させていただきますよう、心から願いたします。

そして、こうした動きをわかりやすく報道している「しんぶん赤旗」のご購読をお願いいたしまして、お訴えとさせていただきます。どうか最後までよろしく願いたします。